



新市立島田市民病院

建設基本計画を策定しました

※イメージ図です。

島田市民病院は、昭和54年に現在地へ新築移転してから36年が経過しました。施設は、耐震性の問題に加え、設備の老朽化が進行しており、新病院の建設事業を早期に進めることは喫緊の課題となっています。このため市では、地域医療の中核を担う急性期病院として、将来にわたり市民の命と健康を守り、安全で安心な医療を安定的かつ継続的に行っていくために、新病院の基本計画を策定しました。新病院は、平成32年度の開院を目指します。

〔市〕市民病院病院建設推進課 ☎35・2111 (代表)

■基本計画で取りまとめた内容

「新病院建設基本計画」では、平成26年7月に策定された「基本構想」を受け、新病院の建設に向け、次の内容を取りまとめました。

- 課題や条件の整理
- 新病院の機能・規模
- 配置計画・整備スケジュール
- 各部門の運用方針
- 概算事業費 など

①新病院開院を目指して

今後は、新病院建設基本計画を踏まえた基本設計・実施設計を経て、建設工事に着手し、平成32年度中の開院を目指します。

②病床機能および規模

一般病床「405床程度」、回復期リハビリテーション病床「40床程度」の合計445床程度とします。

※療養病床と精神病床は整備しない方針です。

※病床数については、今後、県が策定する「医療構想」により変更する場合があります。

※結核病床および感染症病床については、一般病床の中で一定の病床数を確保します。

③建設計画

(1)既存施設の利用について

○東館

利用にあたっては、大規模な改修が必要であり、建設費用の縮減につながらないと判断したため、再利用はしない方針です。

○救急センター棟

1階は人工透析部門、2階は既存のまま講堂や医局、当直室などとしての利用を検討しています。

○健診センター棟

今後有効利用を図ります。

(2)新病院建物規模

新病院建物規模は、延べ床面積が約3万5600㎡程度で、7～8階建てを想定しています。

(3)ヘリポート整備

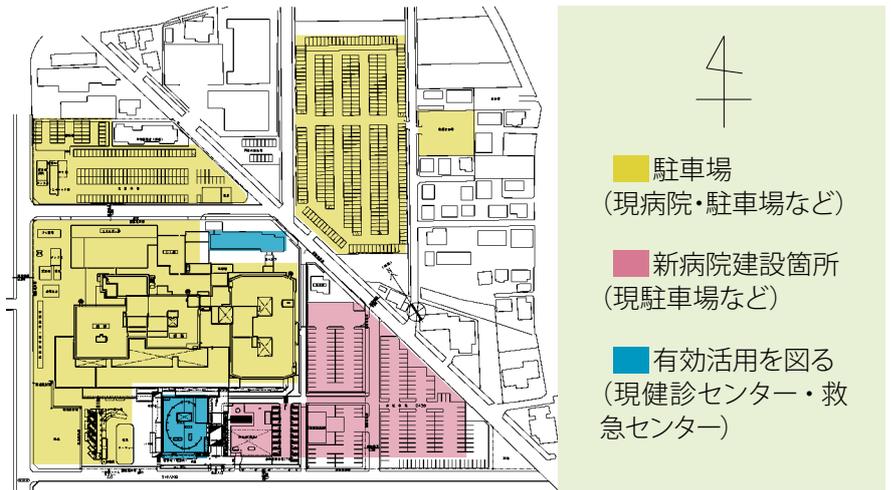
地上設置案と新病院屋上設置案について検討を行いました。長期的に

■パブリック・コメントの反映状況

反映状況	件数
反映した意見	4件
既に盛り込み済みの意見	5件
今後の検討課題とする意見	16件
反映できない意見	2件
その他	4件
意見総数	31件

※パブリックコメントは8月26日から9月25日の期間で募集し、8人31件のご意見が寄せられました。

■建設後の配置図



■建設費見込み額

事業費区分	費用	備考
土地関連費	約 1.1 億円	敷地内水路付け替え、地質調査費、測量費など
設計・監理費	約 4.3 億円	基本設計費、実施設計費、工事監理費など
建設工事費	約 199.0 億円	本体建設工事費、外構工事費、解体費、軟弱地盤対策費など
設備整備費	約 40.8 億円	医療機器・什器・備品費、ネットワーク工事など(医療機器移設費含む)
その他の経費	約 1.8 億円	移転費用および患者移送費、新病院運用計画策定費など
計	約 247.0 億円	

安定した進入ルートを確認できるよう、ヘリポートは新病院の屋上階に設置する方針とします。

④事業収支計画(概算事業費)

新病院建設の概算事業費は、約247億円を見込んでいます。ただし、延べ床面積や建設単価は、基本設計・実施設計の各段階の具体的な検討で増減する可能性があります。引き続き事業費の精査と縮減に努めていきます。

策定した「新市立島田市民病院建設基本計画」は、市役所本庁舎、金谷南・金谷北・川根各支所の情報公開コーナーまたは、市民病院ホームページでご覧いただけます。

http://www.municipal-hospital.shimada.shizuoka.jp/

■今後の整備スケジュール

基本設計

基本計画を基に、新病院の設計図を作成(平成28年以降)

実施設計

基本設計図を基に、より詳細な設計図を作成(平成29年以降)

建築工事

実施設計図を基に、建設工事を実施(平成30年以降)

新病院開院(平成32年度予定)

命と健康を守る安心の砦



島田市長 染谷絹代

このたび、「新病院の建設基本計画」を取りまとめました。この計画は、昨年度策定した「基本構想」を基に病院規模や医療機能を絞り込み、病床機能と病床数、建物の規模と配置、概算事業費など、整備方針とその概要を定めたものです。

この基本計画は、耐震性の問題や施設設備の老朽化など、現在の病院が抱える課題を解決する新病院を早期に建設し、将来を見据えた市民の皆さんの命と健康を守る「安心の砦」を築くというものです。そして、この思いは基本計画の中に、一貫して盛り込むことができましたと考えております。

建設費を少しでも縮減していくという大きな課題はありますが、多くの皆さまに支持され愛される病院となるよう、今後も建設への歩みを着実に進めてまいりますので、引き続きご理解とご支援を賜りますようお願いいたします。